

## バンクーバー便り6

バンクーバー時間：2023年5月29日(月)午前8時30分  
日本時間：2023年5月30日(火)午前0時30分

今回はカナダ・バンクーバーの小学校事情をお話します。

娘は6歳になりますので、現在は John Henderson Elementary School の1年生です。カナダでは9月入学ですが、娘は今年1月からの後期入学でした。小学校は私ども家族の住まいから、Sunset Park 沿いの小道を徒歩で10分程度(私の遅い足ですが、娘の小走りでは5分程度)のところにあります。Sunset Park では黄色のデイジーが群生し、タンポポの綿毛が空中散歩をしていました。公園の道路側には楓を始めとする何種類かの大きな樹木の並木があります。

小学校は一部2階建てですが、平屋でカナダらしく広い敷地に建物があり、校舎の前にはサッカーコートが3面位とれそうな芝生の運動場、その横には多数の遊具や砂場があります。小学校低学年の子ども達も利用しますが、幼稚園も併設されているためもあります。また、草花だけでなく校舎内には、もみの木、桜、藤ノ木などの樹木があり、3月に桜は満開を迎えました。大きなもみの木は緑の大地に一本、堂々と立ち、娘を始め子ども達が木登りを遊んでいます。

朝9時に始業し、15時に終業します。子どもが12歳までは保護者の送迎が必要なため、月～金曜日は公園の緑をみながら、並木のつくる明暗の木陰を娘と一緒に歩いていきます。学校の運動場がみえるあたりから、他の子どもや同伴の親が列をなして学校に歩いています。子ども達は校舎のドアの前で列を作って先生の出迎えを待ちます。8時55分に予鈴、9時に本鈴です。子ども達は本鈴まで近くにあるジャングルジムで楽しそうに遊んでいます。本鈴と共に先生がきて、子ども達の列をチェックして校舎に入っていきます。

I 限目後、正午前そして午後に休憩時間 recess があります。I 限目の後にはおやつ時間もあり、それぞれが自分の好きなお菓子やフルーツをもってきて食べています。正午前の recess は1時間くらいあり、昼食時には持参したお弁当を食べますが、その時間は20分ほどと短く、娘は時間内に食べきれないというもってもらい理由で野菜を残して帰ります。授業には決まった教科書はなく、担任の先生がやりたいように授業をしています。娘の担任の先生は、インド系の女性教師で全く宿題を出しません。宿題を出す先生もいますので、学校として決まっているわけではありません。とにかく学校は子ども達にとって楽しいもののように、不登校児はいません。日本で不登校児が多いという現実、日本の教育制度の歪を現わしているように思えます。先生は威厳を持ち、正すべきことはきちんと説明をして諭し、子ども達から慕われています。

娘のいる1年生のクラスには20名くらいの児童がいます。カナダらしく子ども達は様々な人種の集まりで、まるで国連の会議場のようなです。言語は英語ですが、娘のように海外から入学した子どもは最初、会話で難儀しています。それでも英語環境の中にいるため hearing ができるようになり、speaking も最初単語ばかりだったのが半年近くになると文章も言えるようになっていきます。娘のクラスでは担任の他に school social worker の女性と、教室に発達障害の子どもがいるため加配の assistant の女性がいます。この女性は偶然ですが、カナダ人と結婚した日本人女性で、日本語と英語ができるため娘には幸運でした。複式授業で、1年のみの時も1・2年合同の時もあり、娘は算数ができるので2年の算数を受けています。小学校には7年生まであり、最上級生は学校内のお兄さん・お姉さん役を果たしています。

5月中旬に運動会 Sports Day がありました。運動会プログラムに従って順次、競技が行われ、校長先生のテントの前で子ども達が並んで校長先生のお話を聞き、保護者は運動場を囲んで観戦するという日本の運動会とは違うものでした。子ども達全員が赤、青、黄、緑と4グループに分かれ、子どもの属するグループカラーの帽子や着衣で集まります。娘の学年は7年生の子ども達が考案した運動ゲームの各 station を巡りながらグループで競技をしていきます。各競技で獲得した得点を、同じ色のグループ毎に全学年で集計し、最後にグループ毎の総合点で優勝を決めます。基本的には個人の優劣はありません。保護者席なるものはなく、保護者が自由に station に集まり、子ども達の熱戦を好きな場所で観ているという具合です。Station は広い運動場や校庭に分散していますので、他の学年の子ども達が今、何をしているのか分かりません。午後に子ども全員が運動場に集まり、校長先生から講評を聞き、ボーナス得点が総合点に加算されていきます。ボーナス得点は学年毎に行われる、運動場の端から端までの全力疾走と4方向綱引きなどで決められていきます。

放課後に塾などはありませんので、子ども達は運動場の遊具や樹木でノビノビと遊び戯れています。娘も30分という約束で木登りやブランコをクラスの仲良しと楽しみ、帰宅します。子ども達の様子をみていると、後れを取らないように心配をする親のために、子どもが負担を負わされるという社会は如何なものかと感じます。

